

第4学年3組 道徳学習指導案

平成23年9月12日(月) 第5校時

- 1 主題名 日本の文化に親しもう 内容項目 中4ー(6) 愛国心
- 2 資料名 ゆかたとチマチョゴリ 出典 彩の国の道徳「みんななかよし」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学年の内容項目4ー(6)には「我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。」と示されている。国を愛する心は、そこで育まれた日本の伝統と文化に関心をもち、それらと今の自分とのかかわりを理解する中から芽生えてくるものである。普段の生活の中であたりまえに感じている日本の文化や伝統に気付かせ国を愛する心を育てるとともに、さらに、外国の人々や文化にも関心をもつことができるようにしていきたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、地域のお祭りに出かけたり、夏休みに帰省しお墓参りをしたりする児童が多く、日本の伝統や文化に触れる機会が少なくはない。しかし、それらが日本の伝統や文化であると感じたり、知っていたりする児童は少ない。そこで、本時の授業のねらいにせまるために「日本について知っていること」の実態調査を行った。結果は次のようになった。

「日本とは…あなたのイメージを教えてね。」(ウェブ図で調査)

- ・むかしの建物がある…大阪城・名古屋城、松本城 (児童のウェブ図)
- ・ボランティアがさかん…お互い助け合っている、優しい人が多い
- ・食べ物…和食、お寿司、納豆、たこやき、和菓子、はしを使う
- ・昔話…うらしまたろう、桃太郎、かぐや姫
- ・お祭りがある…あわおどり、ゆかた、ふるさとまつり
- ・伝統がある…着物を着る、和紙、うちわ、花火、おはやし、剣玉
- ・世界遺産がある…厳島神社、原爆ドーム、屋久島、小笠原諸島
- ・ものを大切に作る心がある…トイレの使い方、エコ、むかしの家
- ・自然が多い…桜、山が多い
- ・スポーツ…剣道、柔道、空手、なでしこジャパンが優勝

実態調査を分析してみると、4年生の発達段階に応じた児童なりに『日本』について知っていることが数多く挙げられた。特に「ボランティアがさかん」「世界遺産」「スポーツ(なでしこジャパン)」など、テレビ等から情報として得られる日本像についても書かれているものが多くあった。

日本についてたくさん知っている児童がいる中で、あまり考えたことのない児童も少なくなかった。

そこで、資料を通して日本を知るとともに、日本の伝統や文化への関心を高めさせ、大切にしようとする心を育てていきたい。

(3) 資料について

お母さんが子どものころ着ていた藍染のゆかたを着ておまつりに行くように言われた主人公ゆみ子が、韓国人のスーホンちゃんがうれしそうにチマチョゴリを着ている姿を見たり、お父さんからゆかたや藍染めの話を聞いたりする中で、ゆかたを着ておまつりに行くように気持ちがかわっていく。


チマチョゴリ姿のスーホンちゃんの様子やお父さんの話を、どんな気持ちでゆみ子が見たり聞いたりしたのかを考えさせながら、主人公の心の変容について考えさせたい。

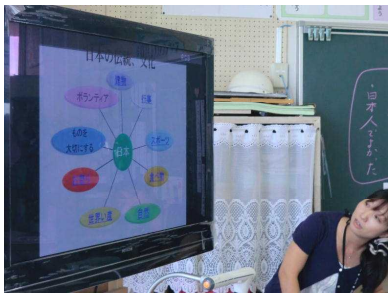

4 ねらい

我が国の伝統や文化に親しみをもち、それを大切にしていこうとする心情を育てる。

5 指導計画 1時間扱い

6 学習指導過程

		学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 *評価	備考
導 入	気 付 く	1、学習の方向を知る。 ・チマチョゴリとゆかたを実際に見て、隣国でも違う文化があることに気付く。	・チマチョゴリを初めてみたよ。 ・ゆかたは着たことがあるよ。	・ふたつの衣装を見せながら、本時への関心をもたせる。	ゆかた チマ チョ ゴリ
	と 展 開	2、資料について知る。 登場人物 主人公：ゆみ子 相手方：スーホン、お父さん、お母さん、おばあちゃん スタートの条件・状況：おばあちゃんのうちにホームステイしているスーホンたちとおまつりにいくことになる。ゆみ子はおさがりのゆかたを着ていくようにすすめられた。 3、資料「ゆかたとチマチョゴリ」をもとに話し合う。 ○資料を範読する。 ・「ゆみ子」の心の変化を意識しながら聞く。 ・心に残ったところや話し合いたいところを発表する。		・ホームステイの説明をする。 ・ゆみ子の心の動きを考えさせながら範読を聞かせる。 ・心に残ったところを出させ、話し合いの筋道を整理する。	藍染めの 着物 短冊
	深 め る	(1) お母さんのゆかたを差し出されたとき、ゆみ子はどんな気持ちだったのだろう。	・おさがりなんてはずかしいな。 ・新しいゆかただったらよかったのに。 ・きれいな色のゆかたがいいな。 ・色が落ちていていやだな。	・お母さんの古いゆかたなんて恥ずかしくて着られないと思っているゆみ子の気持ちに共感させる。	場面 絵 1

展	深 め る	(2) スーホンやお父さんのことばを聞いたゆみ子はどんな気持ちで目の前にあるゆかたを見ていたのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・スーホンはとてもうれしそうに自分の国の服を着るんだな。 ・ゆかたや藍染めが日本にしかないものなんて知らなかった。 ・日本にしかないゆかたを着たくないと思った自分が恥ずかしい。 ・スーホンは自分の国を大切に思っているな。 ・日本にもすてきな服が昔からあったんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うれしそうにチマチョゴリを着てみせるスーホンやゆかたや藍染めを日本ならではのものであることを話すお父さんの言葉から、自分の考えを見つめなおすゆみ子の心の中を考えさせる。 	場面 絵 2
	見 つ め る	(3) おばあちゃんにお母さんのゆかたを着せてもらったとき、ゆみ子はどんな気持ちだったのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・おかあさんも着ていたゆかたが着られてうれしい。 ・着てみると帯と色があつてすてきだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆかたを着て、うれしそうにしているゆみ子の気持ちを考えさせる。 	場面 絵 3 ワーク シート
開	見 つ め る	4、自己を見つめる ・我が国の受け継がれてきた文化について、 児童のアンケートをもとに考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・資料からはなれ、ねらいとする価値に関わる自分の考え方を見つめさせる。(プレゼンで提示) * 我が国の伝統や文化に親しみをもち、それを大切にしていこうとする気持ちが高まったか。 	プレ ゼン
	終 育 む 末	5、本時のまとめをする。 ・ALTの話聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの話聞き、我が国と外国の文化に関心をもち、それを大切にしていこうという気持ちを深める。 ・ねらいとする価値への印象付けをする。 	

7 評価

(1) 児童サイドからの評価

発表、表情の観察、ワークシート、自己評価カードの活用

- ・「我が国の伝統や文化に親しみをもち、それを大切にしていこうとする心」を深めることができたか。
- ・主人公の心と重ね合わせながら考え、自分の心の中を見つめることができたか。
- ・友だちの考えに耳を傾け、自分の考えを深めることができたか。

(2) 教師サイドからの評価

- ・児童の発言やつぶやきから発問や補助発問を工夫し児童の思考を深めることがで

きたか。

- ・児童への支援は具体的であったか。

8 事前指導

- ・児童の日本に関する伝統や文化についての意識を調査することにより、ねらいとする道徳的価値について児童の実態を把握する。

9 事後指導（他の教育活動との関連）

- ・伝統や文化に関心をもち、それを大切にしてこうとする気持ちが見られたとき、本時の学習と関連付けて称賛していく。
- ・保護者会や学級通信で我が国の伝統や文化について話題にし、家庭との連携を図る。
- ・英語活動や社会科などで関連付けた指導を行う。

10 板書計画

場面絵	おばあちゃんにゆかたを着せてもらって うれしいな。 着てみると、なんだかいいな。 お祭りに早く行きたいな。 お母さんが着ていたものを、 わたしも着られてうれしいな。	場面絵	スーホンちゃんがそういうなら 着てみようかな。 ゆかたって昔から日本に 伝えられてきたものだったんだ。 あいぞめって日本にしかない そのものなんだ。	場面絵	スーホンちゃんやお父さんの話を聞いて あい色ですすしそう	お母さんのゆかたを差し出されたとき おさがりなんて… 色落ちしていかわいくない。 このゆかたじゃ着たくないな。 かわいいゆかたがいいのに。	ゆかたとチマチヨゴリ ゆみこ スーホン お父さん	スタートの 条件・状況
		場面絵	でも…色あせてるから。 スーホンちゃんのチマチヨゴリは きれいだからいいな。	昔から日本に伝わってきた 日本にしかないそのもの	場面絵			


11 ワークシート

振り廻り	ア	イ	ウ	エ	オ
①	②	③	④	⑤	⑥

ゆかたとチマチヨゴリ

四年 組 番

おばあちゃんにお母さんのゆかたを着せてもらったとき、
ゆみ子はどんな気持ちだったのでしょうか。



資料分析表

資料名「ゆかたとチマチョゴリ」

内容項目 4 - (6) 愛国心

条件・状況

おばあちゃんのうちにホームステイしているスーホンたちとおまつりにいくことになる。ゆみ子はおさがりのゆかたを着ていくようにすすめられた。

登場人物

主人公

ゆみ子

相手方

両親、おばあちゃん
スーホンちゃん

時間的・空間的場面

夏休み、おばあちゃんの家韓国からホームステイのスーホンちゃんが来ている

夕方
お祭りに行くことになった
母のゆかたを着るように勧められた。

スーホンちゃんが韓国の民族衣装「チマチョゴリ」を嬉しそうに着ている。藍色のゆかたを日本の伝統文化だと父が話してくれた。

ゆかたに着替えるゆみこ。

にこにこしながら出かけていく。

話し合いの柱
(考えさせた
心の内)

お母さんのゆかたを
差し出されたとき、
ゆみ子の気持ち

・お母さんの古いゆかたなん て恥ずかしくて着られない と思っているゆみ子の気持ちに共感させる。

スーホンやお父さんのこと
ばを聞いたゆみ子の気持ち

・うれしそうにチマチョゴリを着てみせるスーホンやゆかたや藍染めを日本ならではのものであることを話すお父さんの言葉から、自分の考えを見つめなおすゆみ子の心の中を考えさせる。

キーワード・主人公の心情

・もっとかわいい色がいい。
おさがりで、色あせてるのなんて着たくない。

・ゆかた：おさがり・藍色・色あせている。
・おさがりのゆかたはいやだと思い、下を向いている。

・チマチョゴリ：韓国では大事な行事で着る。
・ゆかた：日本の伝統文化、藍染めは日本にしかない染め物。
・さっきとは違うゆかたに見えてきた。しばらく考えていた。「ゆかたを着せて。」
・藍染めのゆかたに帯の色が合っている。うれしくなる。

・ゆかたや藍染めが日本にしかないものなんて知らなかった。
・日本にしかないゆかたを着たくないと思ったけど..
・日本にも昔から伝わるものがあったんだな。

・おかあさんも着ていたゆかたが着られてうれしいな。
・着てみると帯と色があって すてきだな。

「わたし、このゆかたを着てお祭りに行くわ。おばあちゃん、ありがとう。」
にこにこしながら出かける。

ゆかたを着て、うれしそう
にしているゆみ子の気持ち

ねらいとする人間像

我が国の伝統や文化に親しみをもち、それを大切にしていこうとする心情を育てる。

あなたのイメージを教えてください！

日本のいいところ

日本の^{でんとう}伝統行事や、好きな行事は何ですか。知っていることを書きましょう。